



慢性腎臓病（CKD）の予防と治療
（提供：一般社団法人愛知県腎臓病協会）

慢性腎臓病

CKD予防対策で、生活習慣改善を早急に

「保健システム改良と啓発に務める」

CKDは自覚症状がなく、加齢も原因でこわい



議員 慢性腎臓病の推定患者は、8人に1人。

尿蛋白とクレアチニン検査を利用した、保健指導によるCKD予防対策をしてはどうか。

福祉部長 腎機能が6割以下か、蛋白尿など腎障害が3カ月以上続く状態がCKDで、戸田は、1万人前後と推計。心臓や血管の病気を起こす危険性は約3倍といわれ、悪化すれば腎不全に陥り、人工透析や腎移植が必要で、対策の重要性は認識。福祉保健センターでは、特定健診データを保健システムに取込み、保健指導を実施しているが、メタボに特化している。来年度入れ替え時にCKDの対応ができるよう準備を進める。

齋藤直子議員

議員 システム改良までに行けることは。

福祉部長 禁煙、減量減塩、バランスのとれた食事が腎臓の負担を軽減するため、栄養教室や健康講座等を実施。今後はCKDを強調した内容に工夫する。市民から相談があれば、保健士や管理栄養士が、個別に対応をする。また、ホームページや広報、チラシなどで周知を図り、腎機能検査の数値がわかる人には、判定の早見表など掲載していく。

その他の質問

Q 永久歯のはえない子供の対応は。

A かかりつけ医で定期健診を促進。

Q キャラクターによるシテイ戦略は。

A 市制50周年記念事業で検討。

一般質問

家庭ごみ

夜間収集で諸問題の解決を

「本市、他市の状況を検討する」

自治体経営もアイデア勝負の時代です



議員 ① 夕食後ごみを出せば、夜中に収集されるために昼間のまち

遠藤英樹議員
の美観が保たれる②カラスに生ごみを散らかされる心配がなくなる③寝る前までにごみが出せるため、ごみの出し遅れが減る④子供の飛び出しが少なくなる⑤交通事故等も未然に防げる⑥交通量や人通りが少ないため収集作業の効率上がる⑦朝の通勤通学時には歩道や道路上にごみが少ないため、歩道を歩く人や通勤の車に支障がなくなる⑧ごみ収集が夜間パトロールにもなり、防犯にも役立つ⑨利点があり、福岡市等で行われているごみの夜間収集についてどう考えるか。



ごみの夜間収集（福岡県福岡市）

市民生活部長 蔵市、衛生センターとの協議調整も必要となり、今後、調査研究していく。わがまち特例税制
議員 平成24年度税制改正に登場した地域決定型地方税制特例措置、通称わがまち特例税制は将来の自治体の自由な税制度設計に道を開く改正の一つ。市としてはどのような対応を考えているか。
財務部長 国の動向を注視し、本市に関連するものについては検討していく。
議員 これからは税収もアイデアを振り絞り、地方の状況に応じた設計をしていく時代。待っているだけではだめなので、努力を惜しまないでほしい。

市民生活部長 協会の基本財産については市に返還を求める権利がない。内部統制は確立していると認識している。
議員 協会は厳密な意味で市の支配下にある団体ではないが、その原資は市から出ており、また事業は市の国際交流事業として、市民に直接影響する。市の担当者として、関心が薄いのは無責任である。

保育園の使用済みおむつの対処法は危険

議員 戸田市の公立保育園では、うんちやおしっこがついた使用済みの紙おむつを保護者が持ち帰る規則になっている（私立園の大多数は園で処理）。不便である上、衛生管理上も国のガイドラインに沿わない状態が放置されており、危険である。園での処分を切り替えるとともに、病原性大腸菌やノロ・ロタウイルスなど病原体の感染予防を再検証願いたい。

子ども青少年部長 衛生管理は適正に行っているが、質問の点は公立園のサービスマニュアルの参考としたい。



ノロウイルスは不十分な汚物処理で容易に集団感染します

酒井郁郎議員

内部統制が不十分である

「確立していると認識」



議員 外部団体の運営に不備がある。例えば国際交流協会は規約どおりの運営がなされておらず、また2億円以上の基金は、もとは市民の税金でありながら、現在は協会のものとな

他人事のような答弁です

市民生活部長 協会の基本財産については市に返還を求める権利がない。内部統制は確立していると認識している。

外郭団体